

令和6年度千葉市芸術文化振興事業補助金 事業実施報告

- ・ 市民参加事業 採択事業数 5事業 (申請事業数 6事業)

(1) 和 一楽しもう鑑賞と体験

主催団体	伝統芸能に親しむ会
事業概要	囃子・箏・日本舞踊・地歌・津軽三味線の公演と、講師指導による伝統芸能の体験を行う。
補助金額	200,000円
日時	令和7年2月24日(月)13時00分～15時30分(12時30分開場)
会場	千葉市文化センター アートホール
事業実績	出演者 18人(うち一般参加者14人) 来場者 250人(うち一般観客動員250人)
事業成果 補助金の効果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市政だより、チラシ、新聞、NHK首都圏ネットワークの広報によりたくさんの方に参加いただいた。 ・ 今年も小学生に参加いただいたほか、千葉県在住の外国人にも参加いただき、少しずつ幅広い層に広がってきている。 ・ 初めて参加いただいた方も多かった一方で、リピーターも増えており、継続は大切だと改めて思った。 ・ このイベントの目的はより多くの人に楽しんでもらい、世界にも発信していくことであるため、今回もライブ配信・YouTube配信を行った。それにより当日会場に来ることができない多くの人たちからもコメントをいただいた。 ・ 海外の知人のFacebook等を通じて、海外の人たちにも周知することができた。 ・ 補助金により、出演者・講師への謝礼を増やすことができ、本格的なパフォーマンス・指導を行うことが出来た。また、補助金によりチラシ数を増やせたため、千葉市内すべての公民館、図書館等と、近隣の小中学校に配布することが出来た。 ・ 来場者には満足していただくことができたが、今後は若い世代をもっと巻き込んでいきたいと考えている。広報についてもっと工夫していかないといけないと感じており、PR方法やライブ配信の発信方法についてさらに検討していきたい。

(2) 第71回千葉市民音楽祭

主催団体	(特定非営利活動法人)千葉市音楽協会
事業概要	千葉市を拠点に活動する団体が14グループ集まって、第1部・第2部の2部構成で演奏を行う。各団体は演奏に先立ち、団の紹介を行い、8分程度の演奏時間にて、日頃の練習の成果を披露する。
補助金額	200,000円
日時	令和6年11月9日(土)11時30分～14時30分
会場	千葉市民会館 大ホール
事業実績	出演者 300人(うち一般参加者 280人) 来場者 430人(うち一般観客動員 130人)
事業成果 補助金の効果	<ul style="list-style-type: none">千葉市で活動するアマチュア音楽団体が、大きなステージで演奏する機会をもてる重要な公演であり、特に自前の演奏会の機会がもてない団体にとっては、多くの観客の前で演奏できるため大きな励みとなっている。日頃の練習成果を発揮すると共に、演奏に対しても観客から好評を得ることも、更なる向上の大きな励みとなっている。今回で71回目を迎え、千葉市民に定着している音楽祭となっているがコロナ禍以降は出場する団体が減少している。そのため今回、土気中学校の吹奏楽部をゲストとして招聘し、新たな参加者層の掘り起こしを試行した。補助金により、入場料の無料化を実施できたことに加え、出演者の参加費を定額に抑えることができた。コロナ禍以降は参加団体の減少が続いているため、次回以降、参加団体の増加策を引き続き検討したい。今後、より多くの団体が参加しやすい企画を検討したい。運営面についても参加者アンケートを参考に改善できる点は改善してスムーズな公演実現につなげたい。

(3) 第 29 回国際音楽の日コンサート

主催団体	(特定非営利活動法人) 千葉市音楽協会
事業概要	毎年 10 月に実施している当協会主催の公演で、今回は 17 世紀半ば～18 世紀初頭にかけて作曲された古典楽曲を、古楽オーケストラ 27 名 (プロ)・合唱団 40 名 (アマチュア)・ソリスト 2 名 (プロ) の編成で、2 部構成で公演する。
補助金額	200,000 円
日 時	令和 6 年 10 月 5 日 (土) 14 時 00 分～16 時 00 分
会 場	千葉市民会館 大ホール
事業実績	出演者 70 人 (うち一般参加者 40 人) 来場者 300 人 (うち一般観客動員 300 人)
事業成果 補助金の効果	<ul style="list-style-type: none">・ 国際音楽の日コンサートの企画として古楽を取り上げることは、チャレンジングな公演であったが、来場者からは古楽器の使用や指揮者の解説等に対する評価が高く、また楽曲に合わせたピリオド楽器の使用により、現代の楽器では味わえないその時代の雰囲気を感じさせる音色が響き渡り好評を博した。・ 公募の合唱団の練習は 27 回に及んだが、プロの演奏家たちから好評かを得ており、アマチュアの底上げが図れた。・ 補助金により、入場料を低額にできたことに加え、合唱団員の参加費を低額に抑えることができた。・ 今後、広告宣伝活動を工夫すること等により、集客の向上に努めたい。

(4) オペラ「カルメン」全4幕

主催団体	シティオペラちば
事業概要	団員や市民参加者出演による、歌劇「カルメン」の公演を行う。
補助金額	200,000円
日時	令和7年3月1日(土) 12時30分～15時30分
会場	千葉市美浜文化ホール メインホール
事業実績	出演者 29人(うち一般参加者 5人) 来場者 350人(うち一般観客動員 320人)
事業成果 補助金の効果	<ul style="list-style-type: none">過去の3公演はチケット完売のため、今回はチケット料金を1,000円から1,500円に値上げをしたが、チケットの売り上げは過去最高となり完売であり会場は満席となった。会場のプロジェクター設備の改善により、これまで以上にドラマチックな映像を、字幕を含めて大きなスクリーンに投影することができ、物語へ与える効果を最大限に引き出すことができた。アンケートも好評であり、『演出のおもしろさを楽しませていただいた。』『日本語の展開も素晴らしい』など高評価を得た。補助金により、大道具、小道具、衣装などが大きく改善された。また、舞台スタッフも頼むことができ、出演者が歌や演技に集中することができた。総じて舞台のクオリティは上がってきており、市民で作るものでありながら、プロにも負けないおもしろさも出てきている気がしており、アマチュアの限界を逆におもしろさに転嫁できていると感じている。この4年間は、チケットは完売・満席の状況が続いているおり、今後はもう少し広い会場へ移行する案も出ているので検討を一步進めたいと思っている。男声の高齢化・人数の少数化の問題についても本格的に検討したいと考えており、男声の募集や勧誘に力を入れていきたいと考えている。

(5) 第8回 MOA 美術館ちば児童作品展

主催団体	MOA 美術館ちば児童作品展実行委員会
事業概要	市内小学校（1～6年生）を対象とした絵画（テーマは自由）の作品展で、千葉市内各所における巡回展、全体展示を行う。 応募作品から優秀作品（入賞・入選）を選出する。
補助金額	143,000 円
日時	【全体展示】令和6年11月26日（火）～令和6年12月1日（日） 10時00分～18時00分 【巡回展】① 令和6年12月17日（火）～令和6年12月23日（月） 10時00分～20時00分 ② 令和7年1月10日（金）～令和7年1月31日（金）関係者のみ
会場	【全体展示】千葉市美術館 市民ギャラリー 【巡回展】① そごう千葉店 地階ギャラリー ② 千葉刑務所
事業実績	出演者 95人（うち一般参加者 95人） 来場者 千葉市美術館 市民ギャラリー 370人（うち一般観客動員 370人）
事業成果 補助金の効果	<ul style="list-style-type: none"> 今回はコンセプトをさらにしっかりと学校に伝えることに重点を置いた。応募点数は昨年度より少し増加して、出展した児童のそれぞれの想いが明確な作品が多かった。 アンケートから、毎年千葉市美術館市民ギャラリーでの展示を楽しみにしているリピーターの方や、運営のボランティアに興味をもっている方がいることを知ることができた。より多くの方が子どもたちの作品から力や癒しを得られることを願い、共に活動できる人材が増えるよう検討していきたい。 当日は、記念写真の撮影等を行うなど、受賞者をご家族・来館者・ボランティアでお祝いした。時間などの制約はなく、ゆったりと鑑賞しながら受賞を授与する形式のため、受賞者のみなさまに喜ばれている。 補助金により、展示室を追加し広いスペースで実施することができ、主役である作品一点一点を大事にした展示、ゆったりと鑑賞しやすい展示を実施することができた。 また、広報のための学校配布用のチラシや展示会場の看板としてのポスター作製に活用することができた。 今後もコンセプトである児童の「生きる力」を育むことをベースに、本事業を支える家族やボランティア、さらには作品を鑑賞する市民の「生きる力」をサポートし、地域社会のみんなで児童の健全育成の一助となる作品展を目指していきたい。